



令和元年度園評価の結果

1 主な指標の変化

- ① 全保護者による調査の結果、「子どもは幼稚園が好き」という幼児は良くあてはまるやや当てはまるを含めると 97%である。良く当てはまるだけの数値で比較すると昨年の 82%から 91%になり幼稚園生活を楽しく過ごせていた様子が良く分かる。
- ② 「子どもは幼稚園の絵本の読み聞かせを楽しみにしている」についての項目で良く当てはまるが 86%から 97%に伸びた。地域の人や保護者による読み聞かせ・教師の読み聞かせの努力から関心が高まってきたことが分かる。
- ③ 「先生に子供のことについて相談できる」についての項目で良く当てはまるが 86%から 94%に伸びた。学期に 1 回取り組んでいる教育相談や困ったことにはその都度相談できる職員体制が成果をみせてきたようである。

2 幼稚園教育目標の具現化に向けた指標

① 『健康で明るい子』

花園幼稚園の広い園庭を生かした遊びを固定遊具と移動遊具等の組み合わせの工夫により楽しく体力づくりできた。砂遊び等が自主的に取り組める環境構成や遊具配置を工夫したことにより、外遊び大好き子が育ち、健康で元気な幼児が増えた。サッカーあそびは保護者を巻き込んで実施したことにより体を動かして遊ぶ楽しさが親子の中に浸透した。縄跳びや竹馬のりはほとんどの子供が目標を持って取り組み達成感を持つことができた。

② 『きまりを守る子』

「幼稚園生活の中で安全な遊び方ができることや合図を守る」を重視してきた結果、怪我や大きな事故なく過ごすことができた。また「幼稚園では幼児に対する安全に関する適切な指導が行われている」で良く当てはまるが昨年の 82%から 94%になりやや当てはまるを含むと 100%である。

③ 『仲良く遊べる子』

ルールのある戸外遊びやごっこ遊びを充実させる環境構成に工夫を盛り込んだことで、友だちと協力してグループ遊びをする姿が多く見られるようになった。その結果「子どもは好きな友だちがいる」で良く当てはまるが昨年の 86%から 97%になりやや当てはまるを含むと 100%である。

3 次年度へ向けての展望

「子どもは自分の思っていることを先生や友だちに話せる」という項目が他の評価項目に比べるとやや数値が低い。やや当てはまるを含めると 100%にはなるが次年度は生活の中でさらに、発表活動の工夫や保護者へ言語活動の様子を伝える場を多くつくる必要がある。今後も『話す・聞く』の指標が上がるための保育内容や指導法の検討を進めていきたいと考える。

